

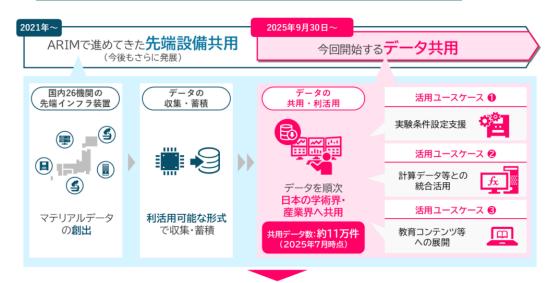
マテリアル先端リサーチインフラ(ARIM)事業において蓄積された、11 万件を超える構造化 データの共用サービスが本格開始されました

産業技術総合研究所が参画している文部科学省の「マテリアル先端リサーチインフラ(ARIM)」 事業において、国内 26 の大学・研究機関に先端設備の全国的な共用体制を整備するととも に、共用設備の利用により創出されたマテリアルデータを、データサイエンス等に利活用しやす い形式に整えて収集・蓄積してきました。

この度、約 11 万件のデータを 9 月 30 日から所定の利用料のもとで共用開始しました(共用データ数は今後も設備利用に応じて増加予定)。多様な設備群から創出されたマテリアルデータが、個々の研究機関の垣根を越えて広く利活用されることにより、データ駆動型マテリアル研究開発の加速とともに、我が国の国際競争力の引き上げが期待されます。

詳細は文部科学省プレスリリースと ARIM ポータルをご確認ください。 <文部科学省プレスリリース>

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01556.html <リアルな実験データでマテリアル AI 研究を加速する新データサービス開始!> https://nanonet.go.jp/data_service/page/new-service.html



データ駆動型マテリアル研究開発の加速

蓄積・構造化されたマテリアルデータは、有償のライセンスデータとしての提供に加え、会員登録や利用申込を必要としない無償のオープンデータとしても公開されており、幅広くご活用いただけます。

現在、NPF では、利用者による 14 件のライセンスデータおよび技術職員による 16 件のオープンデータを提供しています。技術職員が作成したオープンデータは、共用データの構造化様式の確認や、今後 NPF の装置をご利用いただく際の参考データとしてお気軽にご活用ください。データ共用サービスは専用サイト「ARIM データポータル」よりご利用できます。

オープンデータのダウンロード手順につきましては、下記をご参照くださいますようお願いいたします。

ARIM データポータル(https://nanonet.go.jp/data service/)のトップ画面の「データセット一覧」をクリック



2. 「データ区分からさがす」項目を Open、「実施機関からさがす」項目を産業技術総合研究 所にチェックを入れ、「この条件で検索する」をクリック



3. ダウンロードしたいデータセットのダウンロードマーク(🕡)クリック ダウロードしたデータセットのフォルダ構成につきましては、下記をご参照くださいますようお願いいたします。

https://nanonet.go.jp/data_service/page/technical_note.html